

おばあちゃんの ガールフレンド

台湾発

Grandma's Girlfriends

彩虹熟女的多彩青春

クラファン
実施中
9.29まで



阿媽的
女朋友

書名：阿媽的女朋友 彩虹熟女的多彩青春 著：台灣同志諮詢熱線協會 発行国：台湾

55歳から83歳まで 次世代にバトンを繋ぐ 台湾に生きる17名の 中高年レズビアンたち

『おばあちゃんのガールフレンド』に紹介されたのはわずか17人のレズビアンである。けれど、その背後には無数のおばあちゃんとそのガールフレンドがいるはずだ。もちろん、日本にも。だから、この17人の物語を、日本のおばあちゃんとそのガールフレンドに何としても届けたい。いつか日本のおばあちゃんたち自身に語ってもらうために。

**たくましく困難を生き抜いた多彩な人生の物語。
連帯のメッセージを届けたい**

発起人：橋本恭子（はしもときょうこ）

一橋大学言語社会研究科博士課程修了。博士(学術) 日本社会事業大学、津田塾大学、東洋大学、横浜創英大学、駒澤大学非常勤講師。著書に『「華麗島文学志」とその時代——比較文学者島田謹二の台湾体験』（三元社）、『島田謹二——華麗島文学的體驗與解讀』（涂翠花・李文卿訳、台湾大学出版中心）、訳書に李玫萱著、台湾草心慈善協会企画「私かホームレスだったころ」（白水社）がある。



本書は、55歳から83歳（インタビュー当時）までの年齢層、社会階層、職業、生活地域の異なるレズビアン17名へのインタビューをまとめたものである。

台湾では同性婚が合法化される過程で、多くの当事者がカムアウトし、可視化された。教育現場でもジェンダー平等教育が進められ、若い当事者の意識や周囲の環境には著しい変化が見られる。一方で、55歳以上の中高年の当事者は未だに声を上げにくく、彼ら彼女らに対するイメージも固定化されがちであった。理解が不十分で、嫌悪感情も根強かった時代に不幸で孤独な日々を過ごしていたのではないかと考えられていたのである。

だが実際、本書に登場するレズビアンを見ると、著名な歌手から初期のレズビアン運動をリードした教員、結婚して子供のいる人、アメリカや日本で生活した人まで実に様々で、困難な時代をたくましく生きぬき、多彩な人生を送ってきたことがわかる。

日本でも55歳以上の当事者の存在は見えにくい。だからこそ、本書はクローゼットから出づらい中高年のレズビアンに連帯のメッセージを届け、この世代ならではの課題を共有することができるのではないだろうか。

**お得で貴重な特典を
お見逃しなく！**



<https://greenfunding.jp/thousandsofbooks/projects/6228>